

2017年11月10日

株式会社 **ブルボン**

---

**株式会社ブルボン再生医科学研究所から  
再生医療研究用増殖制御基礎培養液**

**「Xyltech」(キシルテック) BOF-01 を 11月15日に販売開始！**

---



Xyltech BOF-01

株式会社ブルボン（本社：新潟県柏崎市、代表取締役社長：吉田康）は再生医療向け試薬事業への新規参入として、グループ企業の株式会社ブルボン再生医科学研究所において、ヒト多能性幹細胞（iPS/ES）用増殖制御基礎培養液 Xyltech BOF-01 を開発し、2017年11月15日にニプロ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：佐野 嘉彦）を通じて販売を開始いたします。

Xyltech BOF-01 は、(株)ブルボンの研究部門である健康科学研究所が信州大学との共同研究を通じて開発した「糖による細胞の増殖制御技術」を応用した研究用試薬です。

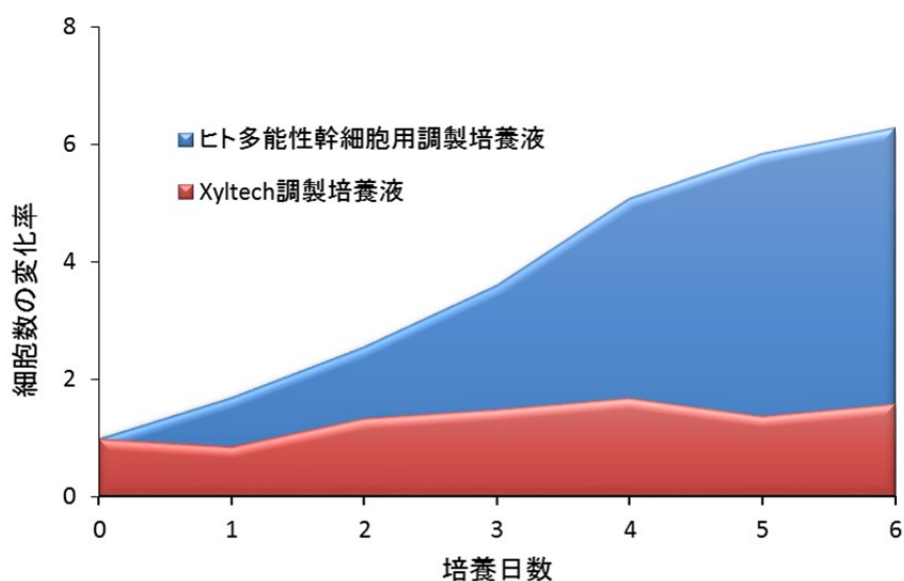
ヒト多能性幹細胞 (iPS/ES) は、再生医療の切り札として様々な応用が期待されており、その安全性も向上の一途をたどっています。一方で、特徴である「高増殖性」や「分化多能性」により、安定した維持培養には研究者の高い培養スキルや時間的なエネルギーを必要とするため、現在、異分野間の様々なアプローチによる維持培養技術が開発されています。

(株)ブルボンでは、健康科学研究の一環として実施してきた多能性幹細胞研究を通じて培った培養技術と、食品の主要成分である「糖」に関する幅広い知見を活かし、糖による安全・安心な細胞増殖制御を通して、研究者の負担低減と多能性幹細胞を用いた再生医療研究の発展に寄与することを目的として、本製品の基盤となる技術を開発しました。今後も、Xyltech BOF-01 の発売をスタートとして、安全・安心な再生医療向け試薬の開発と再生医療研究の更なる発展に貢献してまいります。

## 【製品概要】

製品名 : Xyltech BOF-01

製品特徴 : 本品をヒト多能性幹細胞培養用基礎培養液として用いることにより、オンフィーダー培養条件下にてヒト多能性幹細胞の性質を維持したまま増殖を穏やかにするため、土日や任意の休日の培養液交換ならびに継代等の維持作業が必要なくなり、研究者の負担が低減されます。また、増殖を抑えることにより実験スケジュールをフレキシブルに変更することが可能となります。



ヒト iPS 細胞におけるヒト多能性幹細胞調製培養液との細胞増殖能比較(ヒト iPS 細胞 201B7 株)

注意事項 : 本品はオンフィーダー用培養液です。フィーダーフリー条件下では使用できません。  
本品は研究用試薬です。ヒトや動物の治療・診断目的ではご使用になれません。

内容量 : 100ml

発売日 : 2017年11月15日

参考価格 : 10,000円(税別)

## 【用語説明】

### ヒト多能性幹細胞：

ヒトを由来とする、ほぼ無限に増殖し体の様々な細胞・組織に変化する性質を持った細胞で、体細胞に特定の初期化因子を導入することにより樹立されるヒト iPS 細胞や、ヒトの受精卵内の細胞（内部細胞塊）から樹立されるヒト ES 細胞等があり、再生医療研究用ツールとして期待されています。

## 【ご参考】

### ニプロ株式会社の概要

会社名：ニプロ株式会社（NIPRO CORPORATION）  
所在地：大阪府大阪市北区本庄西3丁目9番3号  
代表者：代表取締役社長 佐野 嘉彦（さの よしひこ）  
資本金：84,397 百万円  
事業内容：医療機器・医薬品および医療用硝子製品の製造・販売

以上

## 【この件に関する研究機関様のお問い合わせ先】

株式会社ブルボン再生医科学研究所 業務部  
窓口：室橋 直人  
Tel：0257-23-2769  
E-mail：[support@bourbon-barl.co.jp](mailto:support@bourbon-barl.co.jp)